

# 座間市消防署東分署 化学消防ポンプ自動車Ⅱ型



車名	日野自動車				
登録年月日	平成25年3月				
車両重量	9400kg	車両総重量	11540kg		
水槽容量	1300ℓ	薬液容量	5000(2500×2)		
車長	724cm	車幅	230cm	車高	310cm
総排気量	6400cc	乗車定員	6名	燃料	軽油
ポンプ	国家検定A-2				

化学消防ポンプ自動車は水のみでは消火が困難な油脂火災などに対応するため、泡消火薬剤を各種泡ノズルで、発泡させ泡放水できる消防車です。化学消防ポンプ自動車の主な装備は水槽・泡原液槽・泡混合装置・放水銃で構成されています。消防ポンプに自動泡混合装置等（自動ポンププロポーショナー）が加わっている点が特徴です。

## <泡消火薬剤補給方法>



補給機使用方法



直接補充方法

薬液の補給方法として、車両上部から直接薬液層内に補充する方法以外に、薬液補給機を使用した補給方法と、泡放水中の薬液不足時にはピックアップノズルをつなげて外部から薬液を吸液し、泡放水を可能にする事が出来ます。

## <メガフォーム> (水成膜泡消火薬剤)



メガフォーム（水成膜泡消火薬剤）は、凍結抑止剤等から構成された淡褐色の液体です。油脂火災などに対して表面張力低下能力が高く、泡放水すると液体火災の表面を速やかに覆い、冷却効果及び窒息効果による消火効力があり、かつ、再燃を防止することができます。

## < 自動式放水銃 >

### 操作状況



自動式放水銃は、左右のポンプ室に配備されたコネクターにリモコンを接続することにより、地上で操作できます。左右どちらからでも操作することが可能で、活動の安全性を考慮した構造になっています。

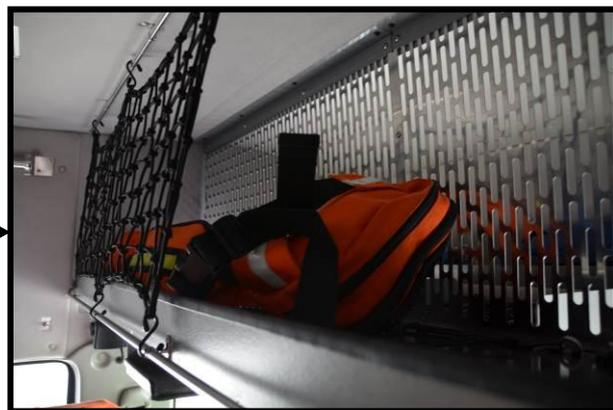
### 放水状況



上下左右に旋回が可能で、広範囲に放水ができ、放水量は毎分 400～2000ℓ です。なお専用ノズルを取付けることにより車両上部からの泡放水も可能です。

## <キャブハイルーフ>

収納スペース

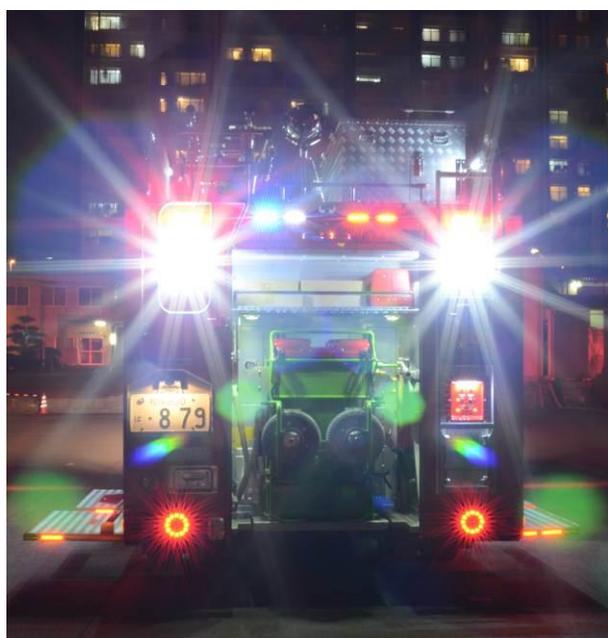


化学車のハイルーフキャブは、隊員乗車時の快適性や収納スペースの充実、後部座席からの視認性を向上しており、車内での防護衣や耐熱服等の着装が可能で、隊員の安全を確保できる構造となっています。

## <各照明>



車両後方面



車両側面



車両両側面及び後部には薄型高性能の強力LEDライト（作業灯）を設置しており、車両周辺をムラなく広範囲に照射でき、夜間でも安全に活動ができます。

## <表示>



『Z表示』



『S表示』

車両右側は、オリジナルラインとして座間市の「Z」を表示。そして車両左側はセフティーの「S」をイメージし、市民の安全、隊員の安全及び現場活動の安全を意味したデザインにしています。

## <車両後部表示>



車両後部ドアには化学消防自動車を意味した「CHEMICAL FIRE ENGINE」と記入されています。これは当市の地域特性として「キャンプ座間」が存在するため英語で表記しています。表記の上には「PTO」「扉」「三連」「ホースカー」確認灯がそれぞれ色分けして設置されており、車両外からも確認が出来る構造になっています。これは同時にキャブ内でも確認することが可能です。

## <泡ノズル>

### MX フォームジェット



主に泡ノズルは低発泡・高発泡に分けられます。

低発泡のもので泡放水された消火薬剤は、油脂火災上で速やかに広がる性質があり、蒸発抑制と再着火の防止に効果があるため用いられます。

また、一般火災では可燃物に浸透しやすく冷却効果もあり、再燃防止にも使用されます。

高発泡のもので泡放水された消火薬剤は、燃焼物表面を一気に覆いかぶせ空間を埋め尽くし、延焼防止と空気の遮断を行います。

### LX フォームジェット



### 低反動泡ノズル



「低反動ノズル」は、通常の泡ノズルと違いノズル保持の補助が不要となり、容易に泡放水が可能であります。

※ 一般火災⇒建物火災等